

軍治綱目集十

中月

ヤ 5

487

1 0

国文学研究資料館



侍用集卷第十目錄

一

日取方角文段卷中  
黒星と事

二

十二星之事

三

五旋時之事

四

良辰之事

五

遁甲時之事

六

小室亡時之事

七

室亡時之事

二力



八

赤口赤舌之時しやうくちやくぜつのかとき

九

赤口日赤舌日之事しやうくちやくぜつのかとき

十

十丁吉凶之事じゅうていきちうきふのこゝろ

十一

十二支吉凶之事じふにしきちうきふのこゝろ

十二

曆之中候之事れきのかんちゆうのこゝろ

十三

七箇善日之事しちかんとくじつのかとき

十四

二季彼器之事ふたきそのひがんのこゝろ

十五

半夏生之事はんげしょうのかとき

十六

三伏日之事さんぷくじつのかとき

十七

不成就日之事ふじょうじつのかとき

十八

八專之事 付リ八專之間日之事はせんのかとき つけりはせんのまひのかとき

十九

五寶日之事ごほうじつのかとき

二十

五墓日之事ごぼにちのかとき

二十一

五離日之事ごりじつのかとき

二十二

五合日之事ごがふじつのかとき

二十三

大最後日之事だいさいごじつのかとき

二十四

四神相應地之事しんしやうおうじのこゝろ

二十五

屋敷二十二相圖文之事やしきにふたふたさうずのこゝろ



二十六

地形相生相剋之事

二十七

み姓よりいへる家城造歳吉凶之事

二十八

八神吉凶之事

二十九

五星神有之事

三十

火日之事

三十一

十三箇悪日之事

三十二

七箇悪日之事

三十三

没日滅日之事

三十四

追加地家吉日之事

三十五

生木切日之事

三十六

山鳴日之事

三十七

木鳴日之事

三十八

山神腹立日之事

三十九

水鳴日之事

四十

伐木取吉日之事

四十一

巧匠木道可招居吉日之事

四十二

礎居柱立吉日之事

四十三

柱立次第之事



軍中

糧立不向あし

軍中

門ひくべき吉凶し

軍中

門とひく宿し

軍中

屋敷ゆ方の二十八宿し

軍中

厠造吉日し

軍中

大明日し

侍用集卷第十

目取方角文段卷中

第一 黒星し知事

巳午酉亥子此ふ目ふあたりの方を黒星し知事。但し

月朔方を寅しとよく出。四月巳。五月午。八月酉。十月亥。十一

子。此處方也。二月朔方を卯しとよく出。三月朔方を辰し。四月

朔方を巳し。五月朔方を午し。六月朔方を未し。七月朔方

を申し。八月朔方を酉し。九月朔方を戌し。十月朔方を亥

し。十一月朔方を子し。十二月朔方を丑し。このまゝ月

ともに右のまゝ目ふあつた目黒星也。諸事ふ凶

第二 十二星之事









そのす方廻時 徳は統統衣生小幸祐を賜時之故に  
あるふ用下 いづれも具ふ宝目のおふて助合す也

第四 良辰する

甲乙月八十目 丙丁月八目 戊巳月六目

庚辛月六目 壬癸月二目

右其目よりかぞへていづれと知也。なる甲子目なるは  
酉時乙丑目ある成時と知也。なる吉时也

第五 遁甲時之る

甲癸ハ子より五め 乙壬申より五め 辛丙ハ午より五め

戊己ハ寅より五め 丁庚ハ辰より五め

左最上の良辰也

第六 小空亡時之事 世ふ不成就目と云

一八十五廿二廿九貝盡卯時より午刻まで四十二廿五廿月ハ

夜酉時より子刻まで

右此時も何事も成就せざる时也。大ふ凶也

第七 空亡時之事

甲子月ハ戌亥時 甲寅月ハ子丑時 甲辰月ハ寅卯時

甲午月ハ辰巳時 甲申月ハ午未時 甲戌月ハ申酉時

右甲の月ハ二時ハ凶也。是又不成就時也

第八 赤口赤舌時之事

甲乙日ハ丑時赤口未時赤舌 丙丁日ハ申時赤口酉時赤舌

戊己日ハ亥時赤口子時赤舌 庚辛日ハ寅時赤口卯時赤舌



友<sup>とも</sup>は舌<sup>した</sup>のあやまりと云ふなり時也。依然<sup>しかり</sup>なりとも竊盜<sup>しやくとう</sup>等に

赤目赤舌之事

赤口月

廿七	廿六	廿五	晦	廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	晦	廿九	廿八
十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
三十	廿九	廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	二十	十九
正	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
廿八	廿七	廿六	廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	二十	十九	十八	十七
十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
四月	三月	二月	一日	八	七	六	五	四	三	二	一

赤舌月

右赤目赤舌目と口舌のあやまりと云々義あり非の目也  
 依然此ある偽のためは源凶理ある云事等辨受ふ不  
 可之然に進て可用ふあらず物あ不区と云目取をふぬ凶  
 とんは用あるあを物乃舌目と心得んぐ金とあり  
 又云此は舌のあやまりを云ふなりよめて亦方小理  
 有て歟乃偽をあふえんため成故なり辨受あいくに用  
 也云云是赤は赤舌時と同者也

十<sup>名</sup>吉凶之事

○用乙ハ本姓也。いひまき生来をきつる。ば。お刃を度々す。殺害を  
凶人馬ふ灸針す。くくす。お祈門。出ふ音。但軍の門。出ふハ凶  
家と池。城を立。嫁娶。娶。約。等。又音。







○甲寅也此日既造馬と求ふ吉

○酉、鷄也此日官位あふ吉 嫁娶あふ凶

○戌、犬也此日主仕射面嫁娶契約定役等吉外あふ凶

○亥、猪也此日民具と作軍沙汰剛猛事小吉外あふ凶

第十二 曆之中旺之

建除満平定執破危成納用等也

○建、八世界の始日也。此よりして万物と作一切發起建ふ

吉外凶

○除、八一切の悪と解除の見也。故に病と瘰癧、煤掃精進洗

浴等。事々ほひさよりるの依ふ吉。外凶

○満、八一切充滿の見也。故に穀と納財宝を求る立万福成

此日此目と大唐よりも大吉日と定む

○平、八一切平安の見也。故に人制を安んずる家他種立後徳

万事大吉日也

○定、八一切後定の見也。故に軍評定之事ホ或ハ部諸法を定

後法奉行等と定ふ吉日也

○執、八一切所持の見也。故に下人並或ハ部或ハ人の方より寶を取

あふ事と求てよ

○破、八一切破烈の目なり。故に家と作城と立法を按定役し

儀ハ大山家をさづー城と責ぬらふハ吉

○危、八一切陰厄乃日也。故に生陣軍の評定あふ凶。此日

大急日也



○成、美物成就の日也故、美具と他初。方、發起の儀、  
 し。他、犯土、あ、凶

○納、美物納、就日也。故、下人を求、美物家、納、吉。法、  
 衣、衣、入部、美、大、吉、見、也

○用、美、就、日、方、成就、日、一切、後、以、方、成、の、日、なり  
 故、下人、馬、牛、を、し、め、又、財、と、納、を、す、人、是、大、唐、に

と、大、吉、日、と、用、之、  
 の、閉、一、切、不、成就、の、日、也、又、自、他、物、を、閉、封、終、小、の、

第十三 箇善日之事

歲德日	甲	丙	庚	壬	甲	丙	庚	壬	甲	丙	庚	壬
歲德合日	己	辛	乙	丁	己	辛	乙	丁	己	辛	乙	丁
月德日	丙	甲	壬	庚	丙	甲	壬	庚	丙	甲	壬	庚

月德合日 辛巳丁乙 辛巳丁乙 辛巳丁乙 辛巳丁乙

天恩日 甲子ヨリ五日 乙卯ヨリ五日 巳酉ヨリ五日

天赦日 春戌寅 夏申午 秋戊申 冬甲子

母倉日 亥正 亥二 巳三 寅四 寅五 巳六 丑七 未八 未九 申十 申十一 酉十二 巳十三

右、七、星、神、と、是、七、佛、善、巧、方、便、の、應、作、也、美、に、吉、日、也

第十四 二季彼岸之事

二月八月の中より未三日目なり。若、内、不、没、日、ハ、四、日、目、也、然、る  
 七日間也。此、日、ハ、美、事、必、業、と、は、う、ず、殺、害、等、太、凶、善、と、作、佛  
 と、ま、つ、り、慈、悲、心、を、專、と、す、べ、き、日、也

第十五 半夏生之事

五月の中より十一日目也。此、日、ハ、不、淨、を、不、行、娼、欲、と、な、る、事、ハ、辛、酒  
 肉、お、て、不、可、食、又、婦、嫁、小、凶



第十六 三伏日之事

六月の節に入り初の庚を初伏と云中乃庚と中伏と云後の庚と未伏と云は二十日婦嫁を他種も祀およ大凶

第十七 不成就日之事

正七月八	三日	十一日	十九日	廿七日
二八月八	二日	十日	十八日	廿六日
三九月八	一日	九日	十七日	廿五日
四十月八	四日	十二日	廿日	廿八日
五十一月八	五日	十三日	廿一日	廿九日
六十二月八	六日	十四日	廿二日	晦日

右此日多し不成就日也若用則災難来可凶

第十八 八專之事 付八專之間日事

壬子より入 癸亥日迄十二日の事也間日ハ丑辰戌午の四日也

第十九 五寶日之事

甲乙未 丙丁火 戊巳土 庚辛金 壬癸水  
寅未 辰戌 巳土 申酉金 亥子水

右六十支十二支の相剋相生より成ての事。但相剋相生秘傳  
卷小具よりしと云る保義專制伐の五宝也

○保月ハ十支より十二支の相生と云是上より下の相生也月上より

下より有相日故より家々人々所江戸仏神と祈に大吉也

○儀日ハ下より上と云れ多と云すの意を見也故より至要より

下小物と云付らるゝに大吉日也



○專目と下とに相加の目と是と合不台目とを夜合と  
 うあるやさ目と故小嫁娘契約等と大凶一切の目と  
 ○割目と下と下と剋する目也故小佛神の家貴人小物  
 りと深凶おは封面と片りーじなりー科人と殺は  
 此日野時を用る  
 ○伐目と下と下とを剋する目也主客より下小諸役等  
 義端月と修付らるる大凶必軍の評定と凶角大凶日  
 也引取らるる逆の金と下は此日刑時を用へ

第二十 五墓目之事

木姓人乙未墓

胎養長沐冠臨帝衰病死墓絶  
 酉戌亥子丑寅卯辰巳午未申

火姓人丙戌墓

子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥

土姓人戊辰墓

午未申酉戌亥子丑寅卯辰巳

金姓人辛丑墓

卯辰巳午未申酉戌亥子丑寅

水姓人壬辰墓

午未申酉戌亥子丑寅卯辰巳

右各姓と知し木姓人乙未と墓目とする也他姓之此墓  
 目。ある小凶一墓。死骸埋塚也故小深凶。砂の日八十二  
 運ありて文字と心吉凶を知る

第二十一 五離目之事

春三月八

甲申乙酉日

天地離別日

夏三月八

丙申丁酉日

日月離別日

土用八

戊申巳酉日

國家離別日



秋三月八

庚申辛酉日

山河離別日

冬三月八

壬申癸酉日

人民離別日

右節ふりて可せん。天地離別日に天道をのぞく。君臣の  
約せず。日月離別日小八日待月待おと山。國家離別日小八  
部屋渡り。山河離別日に山をたてて城を立す。海河を  
不渡。人民離別日小八人をお守るを求めて地を  
あつむ。事契約嫁娶お大山を

第二十二 五合日之事

春三月八

甲寅乙卯日

天地和合日

夏三月八

丙寅丁卯日

日月和合日

土用六月八

戊寅己卯日

國家和合日

秋二月八

庚寅辛卯日

山家和合日

冬三月八

壬寅癸卯日

人民和合日

右節ふりて可見天地和合日小八天道をのぞく地神と  
里地取お吉日月和合日小八日待月待お吉國家和  
合日小八部屋渡り。山河和合日小八城郭をたて山を  
つぎ樹木植。海河渡り吉人民和合日小八師米を食  
子等の契約吉。地をのぞく。事契約大山を

第二十三 大最後日と度

朔日

九日

十七日

廿五日

右一日一夜宛不成乾の日は山を

第二十四 四神相應地と度



東有流水曰青龍地

南有澤畔曰朱雀地

西有大道曰白虎地

北有高山曰玄武地

右此四具足すを四神相應地と云ふ大吉也。若不足則有  
政来又流水を八柳九本植ふ南小澤畔を八柳七本植ふ  
西小大道を八柳八本植ふ小ふ山を八柳を植ふ也

第二十五 屋敷二十二相圖文之度

四角圓形如意相

八角圓形富貴相

東西增長貧窮相

南北增長豐饒相

東南不足吉祥相

西南不足憂患相

西北不足貧賤相

東北不足息災相

東方不足如意相

南方不足消災相

西方不足口舌相

北方不足貧窮相

前廣後狹困窮相

前狹後廣富貴相

東方半月不吉相

南方半月凶惡相

西方半月吉祥相

北方半月富貴相

右短左長貧窮相

右長左短歡喜相

五形判牀大吉相

無作無形滅亡相

右文字のよきに付て吉凶を知へし

第二十六 地形相生相剋之度

東低西高木姓

青龍地

南低北高火姓

赤龍地

西低東高金姓

白龍地

北低南高水姓

黑龍地

中低土姓

黃龍地

中高

無姓

無土地

青龍地ハ

木姓人ハ凶

陳不

火姓ハ吉

土姓ハ凶

金姓凶陳ハ不凶水姓凶陳ハ不凶

赤龍地

木姓人ハ凶

陳ハ不凶

火姓凶陳ハ不凶土姓ハ吉



金姓凶

水姓凶陳不凶

白龍地ハ

木姓人凶

火姓凶陳不凶土姓吉

黑龍地ハ

木姓人吉

火姓凶

土姓凶

金姓吉

水姓凶

黃龍地

木姓人凶陳吉

火姓吉

土姓凶陳不凶

金姓吉陳凶

水姓凶

右陳より城よりよ心得みく

第二十七 五姓よよりて家城作歳吉凶の度

木姓人

子歳ハ没身

丑歳ハ登位

寅歳ハ半吉

卯歳ハ富貴

辰歳ハ不吉

巳歳ハ逢危

午歳ハ豐饒

未歳ハ大吉

申歳ハ得病

酉歳ハ出世

戌歳ハ福來

亥歳ハ繁昌

火姓人

子歳ハ出世

丑歳ハ福來

寅歳ハ繁昌

卯歳ハ没身

辰歳ハ登位

巳歳ハ半吉

午歳ハ福來

未歳ハ不吉

申歳ハ逢危

酉歳ハ大吉

戌歳ハ豐饒

亥歳ハ得災

土姓人

子歳ハ富貴

丑歳ハ不吉

寅歳ハ逢危

卯歳ハ大吉

辰歳ハ豐饒

巳歳ハ得災

午歳ハ出世

未歳ハ富貴

申歳ハ繁昌

酉歳ハ没身

戌歳ハ登位

亥歳ハ半吉

金姓人

子歳ハ大吉

丑歳ハ豐饒

寅歳ハ得災



卯歲八出世 辰歲八福來 巳歲八繁昌

午歲八沒身 未歲八登位 申歲八半吉

酉歲八富貴 戌歲八不吉 亥歲八逢危

水姓人 土姓同

右如是勘惡歲八造へるべ

第二十八八神吉凶之夏

朱雀日 一日 九日 十七日 廿五日 大凶

白虎頭 二日 十日 十八日 廿六日 吉

白虎脇 三日 十一日 十九日 廿七日 吉

白虎足 四日 十二日 廿日 廿八日 凶

玄武日 五日 十三日 廿一日 廿九日 半

青龍首 六月 十四日 廿二日 晦日 凶

青龍脇 七日 十五日 廿三日 凶

青龍足 八日 十六日 廿四日 半吉

右八神八屋作生行用之右の内白虎頭白虎脇最上吉日也

若凶日よを作お行すれば天地より災難も来ぬと合す

第二十九 五星神有無夏

子寅辰午申戌年ハ 二四六八十十二月

丑卯巳未酉亥年ハ 三七十一月

右の月とて造作城立ふ深凶へ一又正五九月の年の年凶也

第三十一 四火日之事

二月 天火八卯 地火八午 人火八子 雷火八未



三月 熒火子 地火卯 人火申 雷火未  
四月 熒火卯 地火酉 人火戌 雷火巳  
五月 熒火辰 地火戌 人火亥 雷火午  
六月 熒火巳 地火亥 人火子 雷火未  
七月 熒火午 地火子 人火丑 雷火申  
八月 熒火未 地火丑 人火寅 雷火酉  
九月 熒火申 地火寅 人火卯 雷火戌  
十月 熒火酉 地火卯 人火辰 雷火亥  
十一月 熒火戌 地火辰 人火巳 雷火子  
十二月 熒火亥 地火巳 人火午 雷火丑

右此四火日、造作犯玉兵具等作小凶へし。正五九月を除く者。是災位の月なるに由りて、災ありあらずともを不用之。たひ急用ありとも。天人地の三火小兵具を作。戦場小あくる。不負いなり。可也。

第三十三箇 忌日之事

地徽日 不犯	寅 <sup>正</sup> 巳 <sup>二</sup> 申 <sup>三</sup> 亥 <sup>四</sup> 卯 <sup>五</sup> 午 <sup>六</sup> 酉 <sup>七</sup> 子 <sup>八</sup> 辰 <sup>九</sup> 未 <sup>十</sup> 戌 <sup>十一</sup> 丑 <sup>十二</sup>
地破日 同	午 酉 亥 卯 辰 戌 辰 未 辰 戌 巳 辰
地賊日 同	亥 子 丑 亥 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌
地謝日 同	寅 卯 巳 亥 子 辰 酉 辰 戌 午 巳 亥
土府日 同	丑 巳 酉 寅 午 戌 卯 未 亥 辰 申 子
天燭日 万凶	丑 子 亥 戌 酉 申 未 午 巳 辰 卯 寅
地燭日 万凶	巳 辰 卯 寅 丑 子 亥 戌 酉 申 未 午
乱火日 万凶 造作大凶	戌 戌 戌 酉 午 丑 丑 丑 亥 巳 寅 未
落火日 万凶 造作大凶	寅 亥 申 巳 寅 亥 申 巳 寅 亥 申 巳



龍口月 萬凶

午午午巳巳巳辰辰辰寅寅寅

八風月 舟乗大凶

卯午酉子卯午酉子卯午酉子

棟折月 萬凶 造作大凶

卯卯巳巳未未酉酉亥亥丑丑

天下滅亡月 萬凶

丑卯申酉丑卯申酉丑卯申酉

地火月 萬凶

巳午未申酉戌亥子丑寅卯辰

第三十二七箇月之支

三鄰七月

亥寅午亥寅午亥寅午亥寅午

宅地月

丑辰戌丑辰戌丑辰戌丑辰戌

全神滅穴入惡月

未申酉戌亥子丑寅卯辰巳午

飛鹿三殺月

辰巳午未申酉戌亥子丑寅卯

鬼神屋造月

申申申寅寅寅巳巳巳亥亥亥

保昌風月

辰亥未未戌寅寅寅寅巳丑

四季八風月

春 巳丁巳 夏 甲申 秋 丁未 冬 甲申

右の如く可凶見たりと云ふも此月之支

としは、雖布酒星會とく士九七五三二一五廿二

九十八十五十三日此月にあつては使へ。又曜宿和合吉慶幽

徹万徳活幽あつて大吉目と心得七ヶぬ目なすともいひ使

へ。又云物々の趣目とある極吉目ありともいふなり

八風月ハ舟具と不作と云へ

第三十三 没日滅月之支

○没日 此日八曆ハ註七十日七十一日ハ廻

○滅日 此日八曆ハ註六十二日六十四日ハ廻



右此後日減月隱陽もなぐ。月よもむじさ日小不隠日也  
意目也。あふの小山ある嫁娘等よ源也。これ此日をお  
はつて日月のあまよりふして日月とあひ也

第三十四 追加地曳吉日之夏

除平定収用い五ヶ日大吉也。余ハ指合る 甲子乙丑 春凶

丙寅丁卯 夏凶 戊辰寅巳酉 庚辰寅巳酉 辛卯秋凶 壬寅癸卯冬凶

右此日吉日也但用を城小ハ凶一

第三十五 生年切目之夏

甲辰 丙午子辰寅戌 丁未 戊寅申巳酉 庚辰戌

辛酉 壬申寅 癸未丑巳

右此日吉日也。但山神腹立日山鳴日木鳴日餘月減日没日

四季意目水凶一

第三十六 山鳴日之夏

大月八十一日九六日七七日 小月八五日七月十八日

右此日山小く寸木とさく寸城より繩張ホハ凶

第三十七 木鳴日之事

大月八十一日九六日 小月八三日十一日

又云辰丑戌未辰丑戌未辰丑戌未

右此日よもを不可切

第三十八 山神腹立日より山入を凶

寅申巳亥未辰戌子午卯酉丑

第三十九 水鳴日之事



大月八十一日廿六日廿七日

小月八五日七日十八日

右此日始とりく寸川獵ホ凶

第四十 伐木取吉日之夏

丙寅午 庚子寅 辛丑卯巳 壬子午 癸酉

右此日伐木を可来也余日と用へく寸は甲乙戌巳を可凶

第四十一 巧匠木道可招辰吉日之夏

甲子乙酉 春凶 丙午辰巳 夏凶 庚申辛卯酉秋凶

壬申癸丑酉冬凶 以日吉日也

第四十二 礎石柱立吉日之事

甲寅乙卯 春凶 丙子夏凶 庚申午戌辰辛酉秋凶

壬寅午子癸卯酉亥戌子冬凶 此日吉日也

第四十三 柱立次第之夏

春三月八 南一 北二 西三 東四

夏三月八 北一 南二 東三 西四

秋三月八 東一 西二 南三 北四

冬三月八 西一 東二 北三 南四

右龍伏の廻りあぐい。版よりあぐあひ。是は二三四と可き

第四十四 柱立不可向方之夏

二月八時より六時 三月八時より七時 四月八時より八時

六月八時より十時 七月八時より十一時 八月八時より十二時

十月八時より十二時 十一月八時より三時

右柱立不可向方也。時よりあぐあひ。卯時より八初より



除也のきく

夏

傳云金次郎の

敗  
病  
離  
義  
官  
法

あゝとて吉凶を知らず

東。此。方。有。

毘沙門の梵字も是を

延方小虫と云ふ一

善へし惣ふんを立

之吏

四月昇紫

八月くわが角かく先

十一月虛危

吹子

宿之夏

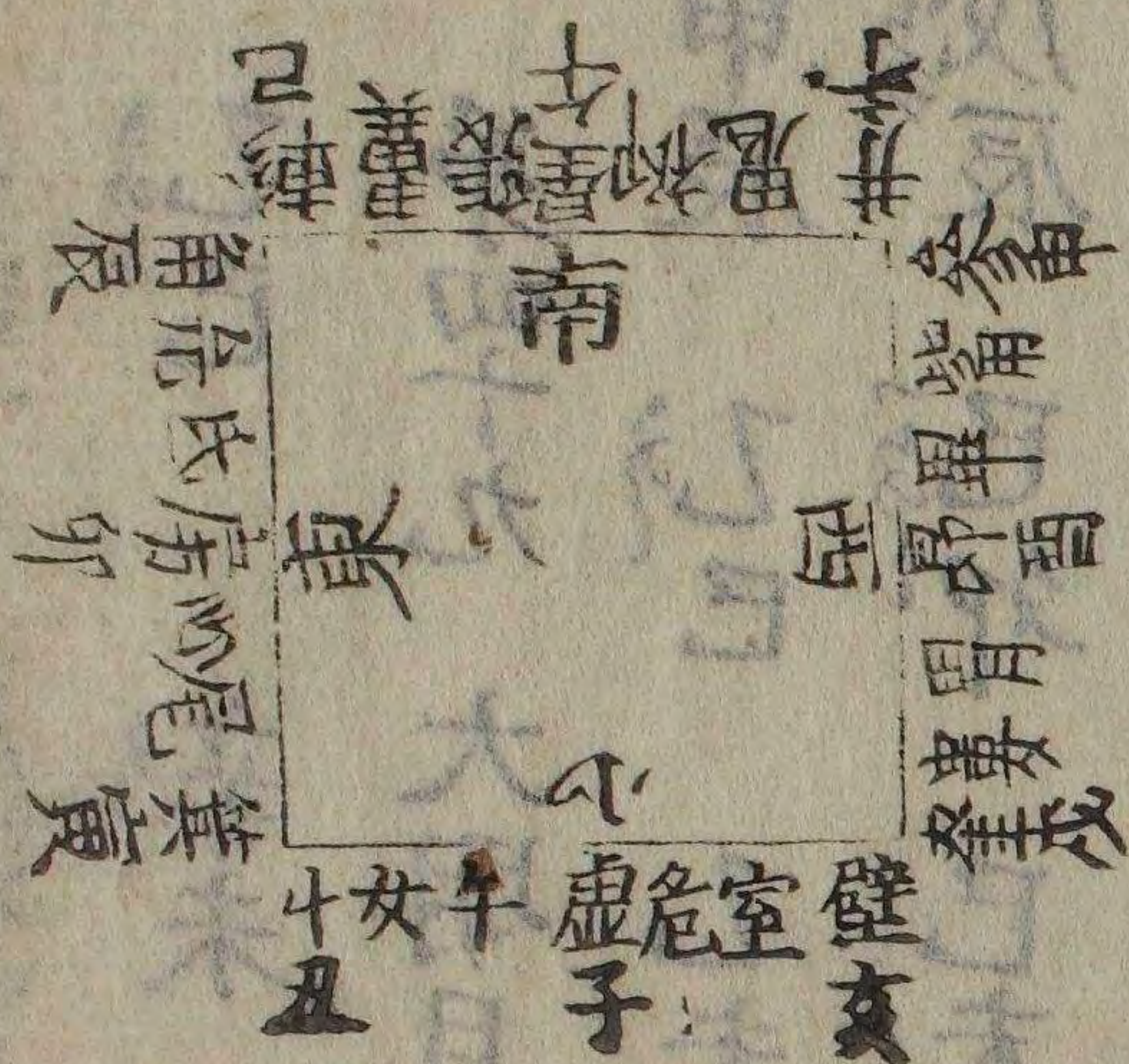
是<sup>え</sup>と以<sup>もつ</sup>て人の姓<sup>せい</sup>相應<sup>さうおう</sup>不相<sup>さうおう</sup>

應子文十家坡子作

てハ門のふしと明あきらち事こととすの義ぎ

人<sup>え</sup>お行の所也。よく

葉





第四十八 厠造吉日之事

甲午 乙巳 辛未 壬申 大吉日也

第四十九 大明日之事

甲申	甲辰	乙巳	乙未	乙酉	丙辰	丙午	丁丑
丁未	戊辰	己卯	己未	己酉	庚辰	庚午	庚申
庚戌	辛未	辛酉	辛亥	壬寅	壬午	壬申	癸巳

右清明大言日と定見也。是龍より傳見也。天火地火太赤小赤等の忌日ふ尚しも比大明日ふ尚日ふより小大吉日とす也。此曜宿多々施主ふ不相應の日成ふ不使也。

侍用集卷第十終









The « Gunpô Jiyôshû » is a japanese collection from 1664, gathering various warrior traditions of the time, in 12 books.

You will find here all of the complete 12 books.

Here is the 12 books index :

Book 1 : Questions and answers about bravery.

Book 2 : About preparation to battles. (First part)

Book 3 : About preparation to battles. (Second part)

Book 4 : About preparation to battles. (Third part)

Book 5 : About the weapons and the tools.

Book 6 : About shinobi / ninja. (First part)

Book 7 : About shinobi / ninja. (Second part)

Book 8 : About shinobi / ninja. (Third part)

Book 9 : About lucky and unlucky day, time and direction. (First part)

Book 10 : About lucky and unlucky day, time and direction. (Second part)

Book 11 : About lucky and unlucky day, time and direction. (Third part)

Book 12 : About *ki* (*chi* or *qi*).

For information, these 12 books of the « Gunpô Jiyôshû » have been fully published and translated in modern japanese in a single book, during the year 2001, by the japanese publisher Perikansha :

<https://www.amazon.co.jp/%E6%88%A6%E5%9B%BD%E6%AD%A6%E5%A3%AB%E3%81%AE%E5%BF%83%E5%BE%97%E2%80%95%E3%80%8E%E8%BB%8D%E6%B3%95%E4%BE%8D%E7%94%A8%E9%9B%86%E3%80%8F%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6-%E5%8F%A4%E5%B7%9D-%E5%93%B2%E5%8F%B2/dp/483150971X>



Auteur : Ogasawara Sakuun (小笠原 昨雲)  
Titre en langue originale : « 軍法 侍用集 »  
Titre en japonais : « Gunpô Jiyôshû »  
Titre en français : « Recueil des techniques guerrières des samouraïs »  
Titre en anglais : « The collected way of the samurai military arts »  
Année : 1664

Le « Gunpô Jiyôshû » est un recueil japonais datant de 1664, compilant diverses traditions guerrières de l'époque en 12 cahiers.  
Vous trouverez ici l'intégralité de ces 12 cahiers.

En voici le sommaire :

Cahier 1 : Dialogue sur la bravoure.

Cahier 2 : Sur la préparation aux batailles. (Première partie)

Cahier 3 : Sur la préparation aux batailles. (Deuxième partie)

Cahier 4 : Sur la préparation aux batailles. (Troisième partie)

Cahier 5 : Sur les armes et les outils.

Cahier 6 : Sur les ninja. (Première partie)

Cahier 7 : Sur les ninja. (Deuxième partie)

Cahier 8 : Sur les ninja. (Troisième partie)

Cahier 9 : Sur l'astrologie et la divination traditionnelles (jours, heures et directions favorables ou défavorables). (Première partie)

Cahier 10 : Sur l'astrologie et la divination traditionnelles (jours, heures et directions favorables ou défavorables). (Deuxième partie)

Cahier 11 : Sur l'astrologie et la divination traditionnelles (jours, heures et directions favorables ou défavorables). (Troisième partie)

Cahier 12 : Sur les manifestations de l'énergie vitale (le *ki*, *qi* ou *chi*)

Pour mémoire, ces 12 cahiers du « Gunpô Jiyôshû » ont été intégralement retranscrits et publiés en japonais moderne en un seul livre, en 2001, par les éditions japonaises Perikansha :

<https://www.amazon.co.jp/%E6%88%A6%E5%9B%BD%E6%AD%A6%E5%A3%AB%E3%81%AE%E5%BF%83%E5%BE%97%E2%80%95%E3%80%8E%E8%BB%8D%E6%B3%95%E4%BE%8D%E7%94%A8%E9%9B%86%E3%80%8F%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6-%E5%8F%A4%E5%B7%9D-%E5%93%B2%E5%8F%B2/dp/483150971X>